

## 第 25 回例会 2022. 6. 1 (水)

■出席率 会員 69 名中 48 名出席 69. 57%  
修正 51 名出席 73. 91% メイクアップ 3 名

### ◆会長挨拶 一條 浩孝 会長

皆さん張 芳宇 (チョウ・ファンユウ) さんという米山奨学生を覚えていらっしゃるでしょうか?台湾の出身で医大の研究者をしていた女性です。とても静かな女性でしたが、5年前に私がカウンセラーをさせていただいておりました。そのチャンさんから久しぶりにメールが届きましたので、まずは原文のままご紹介させていただきます。



福島南ロータリークラブ

一條 様

チャンです。

このたびは、卒業後の進路に関して報告するため連絡しました。

就職活動の結果、2022年6月13日からカリフォルニア大学ロサンゼルス校に入社することが決まりました。研究についての仕事です。研究員です。

就職活動できたのも、ロータリアンの寄付のおかげで、心から感謝いたします。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

チャン ファンユウ

チャンさんは卒業後、米国人の旦那さんと共にロサンゼルスへ移住しています。3年前にロサンゼルスで再会したことがありましたが、その時彼女は「スーパーでアルバイトをしながら大学の研究員になるためのチャンスを探っています」と話してくれました。とても苦勞されているようでした。あれから彼女はとても頑張ったのだと思います。研究員になるという夢が叶い、連絡をくれました。

「米山奨学金制度は奨学期間が終わってからが、本当の付き合い」だと言われています。し

かしながら、なかなかそうっていないのが現実で、こうしたこともあり米山奨学金制度そのものに疑問を呈する意見があることも事実です。ただそれは、奉仕の大前提である「見返りを期待しない」ということに反しているからではないかと思っています。米山奨学金制度が一人の女性の夢を叶える手助けとなり、その恩を忘れずにいてくれる元奨学生がいます。このことは100%では無いにしても米山奨学金制度が意義あるものであるという証だと思っています。今後も米山奨学金制度へのご理解をいただければと思います。

今日はウ・シュウレイさんも来ておりますが、是非ウさんにもチャンさんと同じように自分の夢を叶えられるよう祈っています。今日は元米山奨学生から嬉しい知らせがありましたので、ご紹介させていただきました。

次は残念なご報告があります。

長年在籍いただきました齋藤 浩会員、植木洋司会員が6月末日をもって退会されることとなりました。お二人とも年齢を理由の一つとされておられましたが、先日の若林ガバナ一のお話にもありましたように、当クラブとしましてもシニア会員制度の検討を早急に始めるべきではないかと考えております。次年度の未来計画委員会に検討を委ねたいと思っております。

また青野浩文会員も転勤により6月末日をもって退会されることになりました。こちらは後任の方が入会されることになっておりますので、改めてご紹介させていただきます。また他に1名の方が入会を希望されておりますので、理事会の承認を待つて今月中には皆様にご紹介できるかと思っております。

本日の会員スピーチは、半澤 一成会員によります『師匠から学んだこと』、齋藤 ミヨ会員によります『感謝の道のり』となっております。半澤会員はとても謙虚ですが、私と一緒にの地元では一番の秀才とされており、勉強が全くできなかった私にとっては憧れの対象でもあります。また齋藤ミヨ会員はいつも穏やかで、私もそうなりたいと憧れております。今日は憧れの二人のスピーチを楽しみにしておりました。よろしく願いいたします。

### ◆米山奨学金授与

米山留学生のウ・シュウレイさんに一條浩孝会長から奨学金が授与されました。

ウさんからは、新世代会議に出席し地域おこし協力隊の方やJICAの方とお話する機会があり貴重な体験をしたとのことでした。これも米山奨学金制度のおかげです。皆さんに感謝します。ありがとうございます。



### ◆誕生祝い 親睦活動委員会 齋藤 弘之委員長

6月誕生祝い

尾形 博幸会員  
小坂 和也会員  
菊地 和宏会員  
川島 利文会員  
河谷 元 会員  
半澤 一成会員

6名の方に一條会長からお祝いが贈られました。



◆会員スピーチ 半澤 一成 会員  
「師匠から学んだこと」

1 はじめに

今日はスピーチのお時間をいただきありがとうございます。職業奉仕についてお話するのはちょっと私には荷が重いところもあります。私が弁護士になってから3年間お世話になった師匠の弁護士もロータリークラブの会員ですので、師匠から学んだこと、実践していることをお話させていただきたいと思います。

2 入所してからの日々

私は、弁護士になった後、大学の先輩であるというご縁もあり、郡山市の遠藤大助先生の事務所で働かせていただきました。郡山の文化センターの前の象の像がある法律事務所です、事務所の場所を説明するときも象の像だと冗談になってしまうので、文化センターの前の象のモニュメントがある事務所などと説明しておりました。企業の法律問題、離婚や相続といった個人の法律問題を扱っていました。さらに、弁護士が扱う一般的な案件に加えて、民事介入暴力の案件を扱っており、過去には警察と協力して何件も組事務所の明渡しなどを担当されていたそうです。

昼間の仕事だけでなく、夜遅くまでの飲み会が多くて、私もぶくぶくと太って行きました。しかし、退所後も痩せないで、事務所のせいで太っていたわけではないようです。毎日のように叱られて指導していただきましたが、独立してみると、誰も指導してくれる人がいなくなり、すべて自分で判断して責任も一人で負わなければならず師匠の指導のありがたさを実感しました。

3 独立してから思うこと

今思うと、師匠は当時の郡山市の社会課題を解決していました。当時は、よくわかりませんでしたが、困っている人の役に立つこと、社会の課題を解決することが大事であると実感しました。さらに、社会課題の解決を単なるボランティアで終わらせずに三方良しの関係を作っていました。社会課題の解決を三方良しの仕組みとすることができれば、さらに解決が促進されるのではないかと思います。

社会の変化や AI の発達によって、弁護士の仕事も大きく変わっていきます。福島県では、私が独立開業した頃は原発事故に関する問題が多くありました。最近では、働き方改革に伴う労働問題が社会問題化していると思います、他にも相続や事業承継等、法律問題に関するものだけでも社会の課題は尽きることがないです。コロナ禍や今後の社会において、どのように人のお役に立ち、社会の課題解決に寄与できるのか、模索し続けたいと思います。また、最近では SDGs、CSV 経営、ソーシャルビジネスに取り組むなど社会課題の解決を目指される方が多くなり、そのような素晴らしい方を法律でサポートすることを通じて、間接的に社会に貢献できればと考えております。



もう一つ、重要な学びがあります。私も従業員を雇用する立場になってわかりました。私は、勉強させていただいて、お給料をもらって、おいしいお酒をたくさんいただいて独立させていただきました。経営者にとっては困る辞め方だと思います。どんな気持ちで独立を認めてくださったのでしょうか。奉仕の精神だったのでしょうか。人を雇用して給料を払い、さらには人を育てることは大きな職業奉仕なのではないのでしょうか。たくさん従業員を雇用されて人を育てている経営者の皆様には頭が下がります。師匠の多大な職業奉仕の恩恵を受けて今の自分があると感じています。

師匠は10人以上弁護士を育てており、毎年誕生日に弟子が集まってお祝いをしております。去年は還暦でしたが、コロナ禍で還暦祝いを開催できずに残念でした。

師匠から教えていただいたことは、お客様の問題解決に加えて社会課題の解決も目指して仕事をする事、そして人を育てることでした。師匠の職業奉仕のおかげで今の私があることを忘れずに頑張ります。

#### ◆会員スピーチ 齋藤 ミヨ 会員

##### 「感謝のみちのり」

皆さん、こんにちは、齋藤ミヨと申します。本日はこの様な機会を与えていただきありがとうございます。

会社の仕事の内容は、生活の衣、食、住とすれば住の部門になります。住宅設備機器、家電の販売と施工、上下水道工事、燃料ではプロパンガス、灯油の販売と多種に渡り“あってよかった”と言われるような存在です。

さて、南ロータリーには平成4年2月初めての女性会員として入会いたしました。後で聞いたお話ですが女性入会を認めることに対しては何度も何度も理事会で激しく論じられたとのことでした。

以前、ロータリーの友にポールハリスの妻ジーン夫人の記事があり「女性はほのかな明かりのようで組織を心地よく温かい真心で包み込む光のような役割を担ってくれています。」と大変光栄な言葉が書かれてあり、心が厚くなりました。振り返った時は楽しかった、良かった、頑張ったと大声で伝える道のりを目指したいと思います。



当時私には何の知識もなくでの入会でしたが丁度先輩の佐藤侘先生と顔見知りと云うこともあり教えを頂きました。

- ① 出席することによりわかるようになるから
- ② メーキャップは人との出会いをするロータリーの特権である
- ③ 親睦の楽しさを覚えると自然と楽しくなるから

等々お聞き教えを頂きました。

入会した以上は男性の広い見解と視野に接し自分をいくらでも磨くことができればと思っていました。

今、ここで振り返ってみますと、今までの多くの出会いと友情に深く感謝しております。

さて、私事になりますが34年前私が50歳の時、夫が病死。長い人生道のりには山あり谷あり、でこぼこ道があることは常に覚悟の上では理解しておりましたがまさかの坂に落とし穴がありました。

会社も順調で三人の子供の成長を楽しみに穏やかな日々を過ごしていた矢先、平成4年4月20日桜の花の散りゆく中で主人は帰らぬ人になってしまいました。それからが私の細腕繁盛記の始まりです。

家庭では父親役、母親役を行い、会社では社長として社員の家族まで背負うことになりました。苦境に立った時は誰かのせいにしない、弱音を吐かない、何度も何度も自分で自分に言い聞かせて進んできました。当たり前にある日常のありがたさが忘れがちですが私たちはあらゆる物に支えられ生かされています。常に感謝の心を育てて行かなければと思います。

この先どれだけの恩返しができるかわかりませんが自分の職業に責任をもって伝承することが私の責務と感じております。

経営の神様と云われた松下幸之助さんの言葉に運氣上昇の鍵は、「常に朗らかで仲良く素直であるとあります。」この言葉の“常に”は幸之助さんの哲学そのものと感銘いたしております。

さて、話は変わりましたが私の趣味の一つに登山があります。誰もこの短足の姿から想像もつかないと思いますが実は山女なのです。

コロナ禍で今となっては諦めざるを得ませんが還暦の思い出として登った富士山でのご来光の美しさは表す言葉がありません。何度登っても見る人がいないのに一度の登山で運が良いの一言です。また、日頃の行いが良いとしか言いようがありません。朝早く全天が赤々と染まりその直後地平線からのご来光が一瞬にバーンと出現する光景は絶句です。一步一步登った者だけが味わえる賞です。

夏にも波打った広い雪渓を歩くことができるのは白馬岳です。峯と峯を歩いたのではあまり達成感を知ることはできませんが、裾から一步一步攻めて登った槍ヶ岳の3180mの頂きに立ちあの雄大な眺めを独り占めは至福の一時です。頂上で幸せだねと語り合える友がいることは本当に感謝です。

「あの頂に、私の跡あり。」

最後になりますがコロナ禍でお家時間があり供養の為、また、自己研鑽の為写経を始めました。ある時、種々を整理しておりましたら絵文字写経が出てきました。大野さんに見て頂きましたらこれは珍しいとお聞きしましたので、林さんにも協力して頂き、皆さんにも参考になれば幸いです。

(参加者全員に絵文字の般若心経をいただきました。)

◆次回例会 第26回 2022.6.8 (水)

会員スピーチ 29 (高橋 勇雄 会員：情報は、自分の物差しに置き替え理解)

会員スピーチ 30 (赤間 浩一 会員：改めて気づかされたこと)

新会員スピーチ 5 (大堀 通宝 会員)

以上